夕刊
新京日日新聞
定價 一部 金三錢 一個月 金八十錢 郵稅 一個月 金十五錢
新京永樂町四丁目一番地 發行所 新京日日新聞社 電話二三五番・三三〇〇番
發行人 十河集忠 編輯人 松本男 印刷人 谷啓二郎

最近の滿洲 中央銀行に就て

山成副總裁の放送（上）

山成滿洲中央銀行副總裁は本日午前十一時五分より新京中繼にて奉天放送局から日本並に全滿に向つて、最近の中央銀行に就て、と題しその使命並に現狀に關し興味ある講演放送を行つたが、その要旨左の如し

△最近の滿洲中央銀行に就て

滿洲中央銀行の生れりし第一の使命とも申すべきは滿洲幣制の確立即ち滿洲國貨幣法の下に通貨の統一及びこが安定を明するにあつて中央銀行は先づ之に全力を傾注した次第である

然るに過去久しきに亘り張家一族惡政の結果各省發行は各種紙幣を濫發し幣制紊亂を極め當初は如何なるべきか殆ど見當も付き兼ねたる有様なりしが、幸にして新國家並に中央銀行に對する國民の理解と信認とにより漸次中央銀行發行の國幣を以つて統一せられ貨幣價値亦全く安定するに至つたのである。過去に於ては各種紙幣相場の變動常なく經濟發展を阻害せしこと頗る大なりしが、新國幣は常に其本位たる銀と同一價値を保有するを以つて國民皆安んじて之を使用し、漸次地方に普及するに至り、今日では各地とも取引上の建値は漸次國幣建に改められ、極めて圓滑に流通して居るのである

今開業以來の發行紙幣の狀況を見るに、本年三月末現在發行高は一億二千六百萬圓、其の正貨準備は八千余萬圓即ち約六割を保有して居り、而して開業當初引繼きたる舊紙幣一億四千二百萬圓中今日迄に回收を終りたる分四割一分にして、明年六月迄の流通期限內には殘額全部回收し得る見込である、前記一億三千六百萬圓は、之を開業當初の發行高に比すれば、約六百萬圓の減少となるが、之は滿洲特產物たる大豆、高粱等の出廻り期に於ける資金關係に基くものにして、出廻最盛期即ち十二月頃に於ける最高發行高は一五五、三六三四六一圓に上つた、實は右數字よりも一千萬圓程度の多額の發行を期待して居たが各地匪賊の出沒大洪水其他の不良天候等に災されて產業資金需要の減退を來し發行高にも影響を及ぼしたる次第である

國都建設局 煉瓦價格統制に着手

新京に於ける土建工事用諸材料は前年來諸工事の勃興につれ、材料難や無統制の關係で暴騰に『暴騰』を重ね、本年愈々第二建設期に入つて眞に鰻昇りの觀を呈し斯くては國都建設事業促進上一大支障を生ずる虞あるのみならず、幾多の弊害が簇出するので國都建設局に於ては、これが統制調節を圖ると共に出來得る限りの安價に供給し得るやうにと關係諸機關とも協議の上差し當り先づ砂の供給販賣價格統制に着手したが、第二段として煉瓦の價格統制を圖るべく、八日午後一時煉瓦窯業者を招致し、約二時間に亘つて煉瓦の生產供給能力並に價格基準に關し懇談協議、忌憚なき意見の交換を行つた

窯業者側は吉長、長春、新京松昌、福昌、尊口、安東、仲田等及び土建協會より十四名建設局側より草地氏をはじめ土地課係員、其他關係諸機關代表三十餘名參集先づ局側より窯業者側に對し一々其の生產能力並びに生產費を評細に亘つて聽取したるところ、生產費一錢二厘を要するといふ所に落付き、然らば生產現場にて單價いくらで販賣可能なりやの問に對し、生產者側不答、局側より一錢二錢九毛、一錢三厘等の『提議』に對し生產者側は從價の昂騰、銀爲替關係、職人、苦力の拂底並に資金償却の問題等を持出し、現在諸材料の昂騰率特に木材等に比すれば煉瓦は二錢二厘を唱へても決して高くないなど議論百出結局協議まとまらなく散會したが、局としては右材料を基礎として價格統制に着手すべく、結局赤煉瓦一錢五厘、黒煉瓦一錢二厘位の基準價格に落付くものではないかと一般に觀測されてゐる

第一回全滿 鐵道會議

（奉天九日發國通）滿洲國政府では國道の經營を滿鐵に委任したので、滿鐵では奉天に鐵路總局を新設して萬全を期してゐるが、十五日鐵路總局長總局代表を奉天に召集し、第一回全滿鐵道會議を開催することゝなつた、會議內容は極秘なるも今後の滿蒙鐵道經營に關する根本方針が決せらるべく重視されてゐる

支那側依然 熱河票を僞造

（天津九日發國通）支那側の滑稽的對滿抵抗策の一つとして案出され尚今は盛に行はれてゐるのは熱河、興安銀行の僞造紙幣を天津某租界で僞造し、之を熱河に持込んで撒布して居る事た、現に一昨七日も第十幾回目かの僞造券七十萬元を密送したとの事である

棉花栽培の副業化

實業部の計畫

近日中錦縣小嶺子に開場さるる滿洲國國立農事試驗場は既報の如く主として棉種の改良に力を注ぎ更に餘力をもつて煙草、果、梨、白高粱等の品種改良を行ふことになつてゐるが之と相俟つて實業部が計畫してゐるのは耕適地への栽培普及と農民利福の增進たる新業の副業化である、即ち政府補助金による棉花協會を中央に設立し支部を各縣に置きその監督下に耕作組合を設け、中央銀行其他より低利資金の融通を受け種子の共同購入並に共同販賣を付けしむると共に一方栽培指導員の養成に努む

右棉花栽培は穀物耕作と異り婦女子の手で容易に出來、少くとも一年間の收益をもつて一家の衣服費が補塡出來るので手取り早い農家の福音として各方面から刮目されてゐる

日本製鐵 創立總會

（東京九日發國通）我國製鐵事業の統制合理化を目標として新に生れる日本製鐵株式會社の創立總會は十月下旬頃開催の段取り、該社長として現商相中島久萬吉男の呼聲え最も高く、中井現製鐵長官は副社長として留任せらるゝものと見られる

熱河省事情〔廿〕

A 金鑛

熱河省に蟠屈する陰山山系は殆んど金鑛脈から成るとも云はれてゐる位であるが、左に熱河各縣別產金地一覽表（東北年鑑所載）を掲げて參考に供することとする

縣別	產金地名
阜新	忙牛河趙子溝、昭里營子、塔子溝、大覇溝、上撥頭、新大覇溝、太平溝
建平	成子山、翟家坪、轉山子、上射立虎、林溝
朝陽	各力各、楊家溝子、金廠溝、書溝梁、五家子、東帽子溝
凌源	五龍臺
平泉	密雲鄉及泥窪子
承德	駱駝溝、碾子溝、廠子溝獅子河右岸、大廟河疽山
灤平	金溝屯北八道河
豐寧	藍家營子附近
隆化	老阡溝
圍場	三叉口附近
赤峰	雞冠山

B 銀鑛

熱河省內の金屬鑛產の豐富なる事は云ふ迄もないが民國五六年には產銀額は支那第一で約一千百餘斤を產したと云ふが將來とも有望である

左に產銀地の一端を掲げる

隆化縣 小黑溝（吧吧店、撥不動山、大黑山、小地西溝）
灤平縣 雞爪溝、十家營子

C 銅鑛

平泉 楊樹林潘家溝、煙筒山、孤山子
銅洞溝 平泉縣の東四十八支里、銅鉛を產する
前洞子溝 七溝の東南五十支里

D 石炭

北票 朝陽の東北約九十支里、奉山線の錦州から支線が此地まで出てゐる、その間約二百二十支里、鑛區約七十六支里、炭質良好で埋藏量一億四千萬噸（東北年鑑）と云はれる、もと支那側の官民合辦で行はれてゐたもので、四十萬噸乃至五十萬噸の年產額を有してゐる

阜新 奉天との省境に近く、埋藏量十一億噸と言はれるもの、大通線の八道濠驛から約十支里、新邱にあつて新邱は舊日合辦入新大興の兩公司の所有にかゝるもので、此地は鐵道の便なく、搬出に不便な爲め、鑛量の豐富な割には事業が進捗せず、現在年產額約一萬八千噸である

氷溝 凌源の南百八十支里の地點にある、鑛區面積は四千八百畝で民國十六年から資本金十二萬五千元の株式會社凌源氷溝煤鑛股有限公司によつて經營され、年產約一萬噸である

奉天省との境域に近いところは凡て炭田と云つてもよく、土人が小規模に採掘してゐるものは枚擧に遑がないが、東北年鑑所載熱河省煤鑛鑛區一覽表を示せば左の通りである

縣別	產地	位置	摘要
阜新	新邱	縣城東北七十籽	中日合辦大新、大興公司
	米家窩堡	縣城東南三十籽	東北礦務局經營
	孫家灣	縣城西南十籽	同前
朝陽	西票	縣城東北九十支里	北票煤鑛公司
	南票	錦西附近交界地方	英人より鑛權買收濟
凌源	氷溝	縣城南百八十支里	氷溝煤鑛公司
赤峰	楊樹樹		
	十大分	縣城東南六十五支里	
	五家子	十大分西南二十五支里	
	東元寶山	縣城東九十支里	
	西元寶山	峰〜北六十五支里	
平泉	松樹臺	縣城東南六十支里	晉、瑞生長開掘
	四壁頭		
灤平	七家子	隆化縣との交界地方	
隆化	紅窰溝	隆化の西三支里	
承德		河北との省境附近	

怪人凱歌（百九十）

（須藤鐘一 作・（畫）瀧秋方）（舞臺上演・映畫化）

醜聞（二）

首都を西北に去ること十里ばかりのところに太野といふ町があつた。人口一萬五千ばかりの小邑であつたが、こゝは有名な關東紡織の敷地で、町はすべて此の紡織工業の爲に成立つてゐると云つてよかつた。

職工は千五百人に餘り、彼等の家族を合せると七千人に達した。そして町の商家其他を合せてやつと其の半數あるかなしである。

町の東郊に林立する大煙突からもう〳〵と渦巻き上る黒煙と、そこら一面を埋めて建て連らねられた工場のスレート屋根が、朝日にきらめくところは、見る眼もさはやかな光景であつた。

所が、突然此工場に恐ろしい試練の日が來た。

煙突は一せいに鳴りを潜し、工場の總はすつかり戸をしめきつてしまつた。そして半年の月日がたつたのである。勞資對職工の紛擾な爭議が、まだいつまで續くか分らない。双方が今、睨み合ひの狀態をつゞけてゐるのだ。

之れまでも屢々職工たちは組合の後援を得て、賃金値上げ、勞働時間短縮等を要求した。會社の方でもそれに懲りてゐるので、今度は組合員であるところの職工を全部馘首することに決心を固め、彼等の要求を一蹴として斥けてしまつた。

何しろ組合に加入してゐる職工は、千二百餘名にのぼり、之れを全部解雇することは、要するに東洋紡織工場の全滅であり、同時に太野町の滅亡であつた。

だが、會社の方は、又新しく職工を募集して事業を繼續することが出來るけれども、職工の方は、此の不景氣の最中に、今馘首されては全く手も足も出ない。家族合せて七千人が路頭に迷ふか、餓死するより外はないのだ。——斯うなつて來ると、一小會社對職工の單なる爭議ではなくて、實に大なる人道問題であらねばならぬ。

職工側では、結束を堅固にする爲めに全部を附近の寺院とか、活動寫眞館とかへ收容して、共同生活をすることにした。

各地の諸種の工場に於て、之れまで繰かへされた斯うした爭議の大部分は、いつも職工側の敗北に終るのが常であるが、その最大の原因は職工側に持久力がなくて、會社側の切り崩しにあひ、裏切者を生ずることであつた。

されば其の切り崩しを防ぎ、裏切者を出さぬやうにするには、どうしても職工と其の家族をして衣食に窮せしめないことが第一であつた。

しかし、何を云つても七千人の人々を毎日食はせて行くことは、組合本部にとつて非常な重荷であつたが、しかしそれが最も重大な責任でもあつた。之れさへうまく繼續することが出來たならば、必ず爭議には勝つことが出來る。だから土にかぢりついても七千人をたべさせて行くことだけは、最後まで續けて行く必要があるのだつた。が、職工側の方には、果たしてそれだけの準備があるだらうか？

會社側が、ぢつくりかまへて持久戰に入つたのは、やはり此方の弱點を見透してゐるからに相違なかつた。いつまで續くものか！斯う高をくゝつてゐるに相違なかつた。

双方對峙のうちに年は暮れて、寂しい寒い冬も、いつしか過ぎて、春はあまねく關東の野山にもめぐつて來た。

或る日、太野町はづれの、久しく廢屋になつてゐた寄席小屋の入口に、三四人の男女工が日向ぼつこをしながら、何か話しあつてゐた。

『一たいどうなるでせうね。毎日毎日働かずにたゞぶら〳〵してゐるのも、隨分つらいものね』と、中年増のおかみがいつた。

『あゝあ、早く働きに出たいもんだ。あんまり樂をしてゐるので、腕がだん〳〵やはらかくなつて行く。こんな風ぢや、今に俺の腕も腐物になつてしまふかも知れねえぞ』

と、二十七八の血氣の青年が拳を叩きながら嘆息した。

『さうだ。毎朝起きて背戸で鍬をあらひながら、あの大煙突からもく〳〵と威勢よく煙りの出るのを見ると、何となく心が勇み立つたものだが……』

と、もう一人の男は、今更の如く、枯死した老樹のやうな大煙突を眺めるのであつた。

執念深き支那軍を徹底的膺懲に決す

前線各部隊の準備全くなり 朝來行動を開始

某幕僚談＝長城附近の形勢は數日來重大化し、又執拗なる支那軍の態度に關東軍は堪忍袋の緒を切らし、過日來その準備を進めて居たが、遂に徹底的にこれを膺懲すべく長城線を確保の目的のもとに、或は長城を越ゆる事あるかも知れぬ、長城前線の我軍は既にその活動を開始した（號外再錄）

脅迫狀の山に脅え 學良外遊を急ぐ

張學良は暫く上海で形勢を觀望するつもりであつたが、局面は一向に自分の有利に轉廻せぬのみならず毎日各方面から多數の脅迫狀が舞込んで身邊に危險を感ずるに至つたのでいよ〳〵外遊するに決した 一方學良當然の下野に力を得た東北軍は今や一介の雜軍に化し北平は勿論、要點總て中央軍の占むる處となり、古北口省方面の王以哲軍でさへも最近灤河の線に追込むるに至つた、なほ馮庸が八日北平を發して上海に行つたのは學良に北支狀勢の報告の爲のみでなく一部の望を學良にかけてその外遊引止であるとも噂されてゐる、近來北支から滿洲國目差して歸還する舊官吏の多くなつたのは注目すべき現象だらう

蔣南昌行の眞意

蔣介石が突然南昌に行つたについては色々の說が傳えられて居るが南京軍要人の談によれば蔣介石も北支の收拾は到底自分の力では出來ぬと見極めをつけ何應欽、楊杰に從來の方針を踏襲させるか止むを得なければ黃海以北を放棄する、腹をきめてゐる蔣の後援者である浙江財閥が十月の上海銀行公會で二兎を追はんよりも揚子江南方の共產黨を驅逐するが急務であると公表せるは蔣の南昌行の動機を有力に物語つてゐる

狀況報告に 小磯參謀長東上

小磯參謀長は熱河討伐後の滿洲狀況報告及今後の北支政策殊に長城線の問題につき打合の爲十日午後四時三十分發列車で內地へ向ふ筈であるが途中大連に立寄り在滿同胞獻納の飛行機命名式に列席する豫定である

永野建川兩中將外九名 御陪食を仰付けらる

（東京九日發國通）ジュネーヴより歸朝せる軍縮全權永野、建川兩中將は十日午前十一時半會議狀況復命のため參內する筈である、尙ほこの日陛下には兩全權に豐明殿に於て御慰勞の午餐の御陪食を賜はる趣で、又特に今回は破格の御沙汰を以つて重光前公使を召されて同樣御陪食仰付けられ東久邇宮殿下御台臨、齋藤首相、內田外相、荒木陸相、大角海相、牧野內府、湯淺宮相、鈴木侍從長、本庄侍從武官長も御席を賜はる由である

非常時は未解消 この理由が力を得

內閣の延命運動有望視さる 齋藤內閣の打診

（東京九日發國通）政界一部には四月末或は五月上旬に高橋藏相の辭任を契機として政變は必至のものとされて居るが、之と

＝反對＝に齋藤內閣の延命策が種々の形で行はれて居ることは注目すべき事象である、即ち齋藤首相の側近者をはじめ民政黨首腦部並に官僚系の貴院議員等はしきりと齋藤內閣の延命を策動し、又宮中重臣方面にも內外の時局重大にして非常時未解消の今日政變を來すが如き事無きやう希望する向もあるとのことであり、過般首相と倉富樞府議長との會見の際倉富議長は此際萬難を排し時局匡救に努力すべきである旨を進言したとも傳へられて居る、從つて法相の辭表提出の際も全く首相の一存で優諚を奏請したもので、首相が此擧に出でたのも毅然たる

＝決意＝を以て爲されたものと言はれてゐる、而して現內閣居据りの理由としては齋藤內閣は五、一五事件の直後日本の政治がファッショ獨裁政治に陷る危險が多分にあつたので之を除去することを一つの使命としたものであり、即ち議會政治を尊重する意味に於て政民兩黨より入閣せしめ、あらゆる不安を取除くことに努め、臨時議會を二回も開き急迫せる農村問題を處理し、常議會に於ては二十三億圓の非常時豫算を成立せしめ更に滿洲國獨立擁護の爲め國際聯盟脫退を決行したのであるが、聯盟脫退後の國際關係は極めてデリケートであつて寧ろ非常時は之からと言ふべきであり、また今齋藤內閣を瓦壞せしむるが如き事あらば憲政の常道に復歸するまでにはまだ

＝政黨＝の信用は恢復せず從つて後繼內閣の目あてもつかずに內閣を投出す事は齋藤首相として爲すべき事でない、寧ろ此際齋藤內閣を存續せしめ、其間に政黨の信用恢復を圖り、憲政の常道復歸の確信を得た後で齋藤內閣を解消せしむることが憲政常道復歸への近道である、若し急速に齋藤內閣を瓦壞せしめば次には如何なる內閣が出現するやも計り難く、却つて政黨をして再び立つ能はざらしむるやうな惡結果を招來するを虞れなしといふのであつて、此居据り

＝理由＝には各方面に共鳴するものあるとのことであるから政界の一角に動きつつある延命運動の今後に關しては相當注目すべきであらう

民政黨で 五大委員會組織

（東京九日發國通）民政黨は時局の重大性と政黨本來の使命とに鑑み、內治外交の根本的政策確立のため政務調査會の組織を公開し特に

一、聯盟脫退後の外交對策
一、財政、稅制
一、思想敎育
一、農村漁村對策
一、日滿經濟統制

に關する五大特別委員會を設置し、之が組織並に調査方針は川崎、淸水、作田諸氏の間で目下協議中である

原田男 園公訪問

（淸水九日發國通）西園寺公秘書原田男は九日午後二時半興津坐漁莊に西園寺公を訪問して高橋藏相、小山法相の進退問題の經過及之に關聯する議會閉會後の政情に就き詳細報告後同三時四十分辭去、次で靜岡大東館に於て近衛文麿公と會見して歸京した

時局適應の政綱政策を定む 政友會の對時局方針

（東京九日發國通）政友會では齋藤內閣は今や總退却への一路をたどりつつあるものとし、政局の動向に對しては何等壓迫を加へず只管靜觀方針を持續し、全力を時局打開の根本的具體策確立に傾注せんとしてゐるが、十日午前午後に亘つて開かれる政調委員會との聯合會並に、政務調査會總會に於ては

一、政爭問題に對する根本的對策並に敎育方針の改善
一、日滿經濟の統制
一、非常時財政經濟政策の樹立
一、增稅並に財稅の整理
一、國民外交の實現
一、國防の整備

等の時局に適應する政綱政策を定め、之が政策實現に對する新なる態度方針を決定し政黨の信用恢復に資する事になつて居る

正當なる應酬措置に 蘇聯遂に屈服

昨日貨車返還を言明

（ハルビン十日發國通）滿洲國政府の滿洲里驛構內の東支ザバイカル兩鐵道連絡線路紛爭の强硬處置に對し、東支鐵ソビエート側幹部は沈默を守りつつあつたが、九日に至りクズチェツオフ副理事長は李督辦に對し、ザバイカル鐵道內に引込める貨車三千八百輛をシベリヤ鐵道を迂回烏蘇里線道を經由して東支鐵道に返還すべきことを言明した、右のクズネツオフ氏の言明は頗る意味愼重で、ソヴエート側としては滿洲里驛の線路封鎖は自己の不法行爲に對する滿洲國政府の正當なる權利の主張故何等抗議の餘地なく、今後ラニチナヤ驛に對する、滿洲國政府の同樣强硬處置を虞れ滿洲國側の意嚮を探る爲斯る巧妙な外交的言明をなせるものと觀測されてゐる

世界經濟會議

米國の招請內容 帝國は出淵大使を代表に

（東京九日發國通）經濟會議豫備會談に關するアメリカ政府の招請は七日午後國務次官より發せられたが、昨日午後外務省着の公電によれば、招請內容は左の如くである

大統領は世界經濟會議の準備に關し、主要國代表と親しく會談するの意向を有し各國に招請狀を發したが右會談は軍縮會議に及ぶべきにより、貴國政府でも重要大官を代表として派遣方を應諾されんことを懇望する

右に對し政府では應諾と決定し、十日中に出淵大使に訓電して參加する旨回答するが、政府代表には戰債及び軍縮問題を講究せる故、總理か閣僚級の渡米を欲して居るが豫備會談の日取りが二十二、三日なら間に合ず結局出淵大使が任命され津島財務官が補佐する筈、しかし大統領にして個々會談をなす豫定にて二十二、三日後に於ても可ならば重要大官を派遣すべく考慮して居り外務省では本日出淵大使に右に關し處置するやう訓電の筈

招請國は十一ケ國

（ワシントン八日發國通）米國國務省は八日更にカナダ、メキシコに對しワシントンに於る世界經濟會議豫備商議に代表派遣方を要請した 以上で招請を終り、從つて商議參加國は日英佛伊獨支アルゼンチン、チリ、ブラジル、カナダ、メキシコの十一ケ國となつた

六月十五日頃開會

（ワシントン八日發國通）華府に達した報道によれば、世界經濟會議は六月十五日前後よりロンドンに開かれる事にならうと

米國大統領 陸海軍省に豫算削減を命ず

（ワシントン八日發國通）米國民主黨領袖側より傳はるところによればルーズヴエルト大統領は陸海軍省に對し一九三三年、一九三四年度の豫算を削減するやう命じたとの事である

豫備商議に ルーテル大使とエリオ元首相

（ベルリン八日發國通）ドイツでは豫備商議に駐米大使ルーテル氏任命の旨を八日發表した 尙ほ佛國はエリオ元首相を代表に任命することになつた

トランジット問題で 丁交通總長聲明

業務執行上の不具合を順當に調整せんとするもの

丁交通部總長は東鐵トランジット問題に關し、九日午後二時ヤマトホテルに於て談話の形式で、左の如きステートメントを發表した

東鐵トランジット問題は世上頗る重大な事件として喧されてゐるやうであるが、實は東鐵業務執行上の不具合を交通部の

＝立場＝として順當に調整處理せしめんとするに過ぎざるものである、東鐵が複雜なる事項を含む他國鐵道との直通輸送を爲すためには兩鐵道間に正式の協定を結ぶことは當然なるに拘らず何等據るべき基準を設けず、剩へ東鐵共同管理の原則を無視し、滿洲側幹部の諒解を遂ぐることなく獨斷を以てこれを實行し來りたるのみならず、現に蘇聯側は白系に近き機關車其他數千に上る車輛を自國內に引込みこれが返還に不信の點あるに鑑み、我交通部は幾回か交涉を重ねて滿洲側幹部と十分な諒解の下に正規の協定を結びたる後、これが實行を爲すべきことを指令せるに拘らず、蘇聯側は言を左右にしてこれを肯ぜざるのみならず、依然不法なる直通輸送を繼續し現に日々多數の

＝車輛＝を持去りつつあるによりやむなく阻止の處置を採つたものである、抑々東鐵は我國內に存在し且我國に重大なる利害關係を有する一商業機關である、がそれが我方の利益を無視し且我方の指令を聞かず、不法行爲を繼續するに當つて今回の處置は右鐵道監督上の地位にある交通部として當然である、但し蘇聯側にして從來の不信なる

＝態度＝を改め、正規規定の下に直通輸送を希望するに於ては、これを拒否するものに非ざるは勿論である

外務大藏を中心に 我が根本方針

（東京九日發國通）七月二十五日迄開催內定の經濟會議は六月十日よりそれに先立ちワシントンにて主要國間の豫備會談が行はれるが、政府にても外務、大藏を中心にして委員會を設けて之れが對策を考究中だが、政府では左の方針を決定して居る

一、戰債問題に直接關係なきも、世界各國と協力して世界不況の打開をなすため、世界經濟會議に十分援助す、但し軍縮問題は既定方針を堅持して變らず
一、國際經濟政策に關しては左の諸點を提唱し協調する
（甲）金本位復歸を可能ならしめ經濟問題の國際的調整
（乙）銀價の恢復
（丙）資本移動の活潑を圖るため爲替制限を可及的に緩和する事
（丁）通商の自由の確保と徹底的關稅政策の國際協定

滿洲國政府

トランジット問題に關し 滿洲里各機關に發令

（ハルビン九日發國通）滿洲里に於けるトランジット並びに東支鐵道貨車引入れ問題に關して滿洲國政府では愈々最後的措置を執ることに決し、八日政府の名に於て路警署、特警署其他の在滿洲里各機關に對し、要旨左の命令を發した

一、滿洲里に於けるトランジットは今後絕對に阻止すべきこと、其の方法としては東支、ザバイカル兩鐵道構內に於ける連接線の閉鎖
二、滿洲里經由貨物に對しては嚴重檢査を實行する、即ち國境驛ポグラニチナヤでボンドせる貨物に對しても滿洲里に於て嚴重檢査の上積換へを行ふ、稅關に對する申告書に虛僞の記載あり、ソ側では巧妙な脫稅手段を構ずるが認めてある、從來マンチユリーに於ては關稅旅券の査證等の國境事務に對しソ聯邦側は一方的に專斷的處置を講じて來たが今回の事件を契機として滿洲國政府は斷然此等の弊風を一掃し、新國家の主權に基き國境事務の調整合理化を斷行する決心である

滿洲里驛八ケ所に 枕木を積み線路封鎖を敢行 國際列車以外完全に遮斷さる

（ハルビン九日發國通）八日滿洲國政府が在滿洲里各機關を通じて斷行した滿洲里驛に於ける線路封鎖個所は八個所で何れも枕木にサンドルを組み砂を盛り上げたもので線路の切斷でない、此れに依つて東支ザバイカル兩鐵道は歐亞連絡の國際列車の外は完全に遮斷されたが現場には路警所員が嚴重に警戒し滿洲里驛は緊張を表示して居る

滿洲里より歸哈した 森東鐵係長語る

（ハルビン九日發國通）滿洲里の現狀視察より七日歸哈した森東鐵係長は今回の滿洲國の毅然たる處置に關し八日左の如く語つた

今回の處置は要するに露國側の不正不合理を矯止したに過ぎない、然し問題はあく迄も不法トランジットの阻止にあり、滿洲國政府としては歐亞聯絡の要路を閉鎖せんとするものでなく、今回のザバイカル線と東鐵との聯絡遮斷により國際旅客列車の運行には何等支障ない事を强調したい、今回の處置により西部國境線に於けるトランジット問題は一應解決したが、第二段の問題は東部國境ポグラニチナヤに於けるトランジット問題であるが之はウスリー鐵道と東鐵間にトランジット協定が存在するために可成りの複雜な問題であるが、然し東部線のトランジット問題を解決して、始めて全般的解決が遂げられる譯である

ウスリー鐵道に對しても 實力行動に出でん

（ハルビン九日發國通）東支西部線は昨日滿洲里にてザバイカル鐵道との聯接を阻止されたが、ロシア側は東部線にても右と同樣の不法行爲をなして居るので、ウスリー東鐵兩線接點たるポグラニチナヤで同樣實力行動に出でるものと見られて居る

結局、ロシアが 引入れ貨車返還か

（東京九日發國通）東鐵の貨車引入れ問題に關しては我國ではは滿洲對ソヴィエット政府間の問題として全く傍觀的態度を持して居るが、軍部方面の觀測に依れば、今回の貨車引入れ問題は全くソヴィエット側の不法な爲であるから聯邦側にして滿洲國側の要求に應じ、即時返還せざる場合は滿洲國側は斷乎たる措置を執り、東支鐵道との連絡を遮斷する如き手段を執るに至らばソ聯邦側は大打擊を受けることになつて居るから結局ソ聯邦側で引入れ貨車を返還することになるものと觀て居る

東鐵理事會で 抑留貨車返還に決定

（ハルビン九日發國通）東鐵理事會は昨日午前開かれたが問題の抑留貨車は返還するもデカポット機關車は帝政時代にアメリカより購入せるものにて返還せぬと決定した

日露滿國境紛爭委員會で 三國間の意見一致

（東京九日發國通）日、露、滿三國間に國境紛爭委員會を設置することについては、最に三國間に意見の一致を見たので目下同委員會に關する具體案につき關東軍並びに外務、陸軍側で考究中だが、同委員會は滿洲國、ソヴィエート間の明瞭を缺く國境を確定すると共に同國境方面には我軍が駐屯してゐる關係上、將來國境に於ける紛爭を避ける事を目的とするため此等に就き取決めをせんとするものにして同委員會には滿洲國委員の外日本からも外務、軍部方面から委員を派遣の豫定である因に同委員會設置は不可侵條約問題とは關係を有せぬものである

東鐵南行貨物 活況を呈す

（ハルビン八日發國通）東鐵當局の調査に依ると東鐵東部線（哈綏線）は交通恢復後、全線の貨物は漸次東行する趨勢を示しつつあつたが最近に至り貨車の引入れ或は洪水等の事故頻發の爲運行時間に非常な影響を被りつつあるが最近十日間の營業成績の統計を觀ると南行貨物が俄かに活況を呈し始め、已に東行貨物の量を一躍超過するに至つた

魔醉劑に關する 條約案 第二回審査委員會

（東京九日發國通）魔醉劑輸入制限並に取締に關する條約案の樞府第二回審査委員會は十日午前十時より樞府事務所に開催、委員會の態度決定の筈であるが委員會で可決されば十二日の樞府本會議に緊急上程の筈

東鐵全線の 穀類滯貨 約廿二萬噸

（ハルビン九日國通）東鐵三月末の調査によれば、哈綏線の一面坡、海林、沙河、穆稜等の諸驛に在る穀類の滯貨は一萬一千余噸、哈爾線帽兒、安達、昂々溪、フラルヂ等の諸驛には二萬二千余噸、南部線には三千余噸有り、而してハルビン驛に有るもの十八萬三千余噸で、全線を通じて滯貨總計廿一萬九千余噸に達して居る

人事往來

△佐久間少佐（滿洲國軍政部顧問）九日午後三時三十五分來京
△河崎中佐（滿洲國軍政部顧問）同上
△杉本中佐（關東軍司令部附）九日午後四時三十分奉天へ
△住民悅氏（內務省圖書局）九日午後七時五十分來京
△久下沼警部（關東廳監察官）同上
△張賀業部總長十日午後八時歸京
△河本理事（滿鐵）十日午後九時南行
△小磯中將（關東軍參謀長）十日午後四、三十分內地へ出發の豫定

團體

△安田保善學生十三名十日午後十時奉天出發の豫定
△阪福助足袋社員二十名十日午後六時四十分來京同八時四十分ハルビンへ

けふの銀相場

鈔票	金票	九七三五
大洋	金票	九四三〇
國幣	金票	九四〇四
大洋	鈔票	九六八〇

檻の熊狼も春を壽ぐ昨日の日曜
西公園の人出ザット五千

みぞれあがりの名殘りの寒氣に暖を戀しがつてゐた狂ひの天氣もからりと晴れてきのふけふ街頭には春の陽が照り映え、急に明るく街路樹の木の芽も活きくと、あんずの蕾は名殘りの雨に一段とふくらんで長閑な春の日が訪れて來た、きのうサラリーマンに嬉しい日曜日新京の唯一の行樂地西公園は輕々しい裝ひの家族伴れが賑かに繰り出して春を謳歌し此處彼處三々五々として輝しい陽光を背に受け樂しい語らひのうら若い男女かれんな子供を中心に家庭の延長を樂しむ若夫婦、或は學生兒童とあらゆる階級の人は嬉々として一日のこサンデーを西公園へ開放された、人々はおびたゞしく、ザット五千を越えてゐた、附近の可愛いゝいくつかの草花は今日の人出を喜ぶかの如くほゝ笑み檻の熊や狼は嬉しげに一塊にはね廻り見物のぼつちやん孃ちやんを喜ばして、さながら繪物そのまゝで實に長閑かな行樂の一日であつた

ピユーローの二百五十名の視察團

旅行の最高潮期を目前に控へ日を逐ふに從つて視察團旅行團が春風に乘つて來滿するがその事變以來最初の大規模な試みとしてジャパンツーリストビユーロー邦人部主催鮮滿視察團二百五十名が五月中旬東京發來京する事となつた之に對し滿鐵では二等車八輛食堂車二輛よりなる臨時列車を運轉する筈であるが、かゝる大規模な一般人の視察團は初めてで滿鐵でも視察團の爲に臨時列車を出すのは最初である、なほ同視察團は約三週間の豫定で全滿各地を視察一人前の經費は二百七十圓である

偽造五十錢

最近偽造貨幣が市内に流布されてゐる折柄なので當局は嚴重取締をけつてゐるが折柄八日午後四時五十分ごろ住吉町二丁目浦元製材所方店員李昌道（二八）が電報を發信すべく新京驛案内所へ料金支拂の際五十錢銀貨を差出したがこれが偽造であるを係員が發見し新京署に屆出た、取調の結果偽造銀貨は同家主人が奉天に出張中大星旅館から釣錢として受とつた内にあつたものと判明した

陸上競技部結成で聲明書を發表
全團体をうつて一丸に

從來の體育協會は陸上競技部のみで他の各運動團体は參加せず甚だ不徹底の憾あり、今各團体を一丸とし統一された新綜合團体を結成せんとする氣運が滿鐵並に市中側に擡頭するに及び、陸上競技部は此の氣運を助成し完結せんがため體育協會を退き從つて體育協會は自然消滅の形となりたの如き聲明を發した

聲明

市民各位の絶大なる御後助に依り今日迄體育協會の孤影を守り來た我が陸上競技部は、新京運動界の現狀を以てしては其の存在の無意義なるを悟り自然解消の形に於て從來の體育協會を退くの擧に出す而して今や新京各種運動を一丸とした統一ある綜合スポーツ團体の新に生まれんとする時に當り、我々は欣然此に參加し以て斯界の向上發展に資せんとする熱意あることを此處に聲明し市民の後援を乞ふものなり

四月九日　新京陸上競技部

氣丈夫な奥さん

九日午後一時三十分ごろ市内錦町二丁目九番地高倉ミツ（三二）さん方の玄關がこととと音がて人の入つた氣はいがしたゝめミツさんが誰何し玄關を見ると變な男が赤製短靴[illegible]

承德、赤峯の住民は大安心の態だ
板垣特務機關長の視察談

（奉天九日發國通）久しく熱河の政治工作の狀態を視察して九日午前飛行機で奉天に來た奉天特務機關長板垣少將は語る

現在の熱河は政治工作も着々進みつつあり滿洲國の成立の意義も漸く決定し、湯玉麟の苛斂誅求に泣いて居た民衆も、始めて自覺し、北平へ避難して居た住民は、續々歸りつつある、彼等は何れも安心したる日を迎へる事が出來たと心から感謝の意を表して居る、赤峰、承德の住民は心から君達の云ふて居る樣な「明かな」顔をして居る、治安は我軍のため完全に維持されて今後の心配はない、これからも續々延びて行くであらう長城線外の支那軍は大した問題ではない、彼等が何處までも積極的に出るならばこちらにも覺悟があるからなア

何應欽が本氣で居るならばこちらにも充分の對策がある、これよりもソヴイエツトの東支鐵道問題は大きな話題を提供して居る

新京で一應、軍司令部に報告した上北滿に行き度い

プロペラ船けふから開始

（安東發）殆ど上流まで解氷した鴨綠江は、名物に數へられてゐる、輪輻公司のプロペラ船も愈よ十一日から旅客の便宜本位に航行を開始する事になつた、なほ今年は新造船鷗、鳩の二隻も加はり最大能力を發揮する意氣込で有るといふ、勇ましい朗らかな爆音を國境に響かせるのもけふからである

海防隊員等着京

ハルビン臨時海防隊武内大佐以下〇〇名は十日午前六時四十分來京内嶋田特務曹長以下〇〇名は海軍公館に泊り武内大佐以下〇〇名は同八時四十分ハルビンへ向つた

平本洋行の萬引

市内入舟町四丁目十一番地金敏溶は（二一）九日午後八時ごろ日本橋通平本洋行で客を裝ひシャツ一枚二圓財布一個一圓六十錢を萬引逃走中を店員高木が發見逮捕した

齊克線で脫線顛覆

八日午後二時二十五分齊克線第三十三列車が寧年樹林間にさしかゝるや線路不良の爲四輛脫線顛覆中一輛は破損したが其他何等被害なく、其後の調報に接しないが復舊開通した模樣である

田中小兒科醫長着任挨拶

新京滿鐵醫院小兒科醫長として滿鐵哈爾賓醫院から田中貢氏が來任十日挨拶に來社した氏は先年長春醫院時代に在住した新京に馴染深い人である

（前略）を盗み逃走してゐるを發見、勇敢にも賊を三十間余り追跡逮捕し、新京署に屆出た、賊は長春生れ張金山（二八）と判明した、

雜貨商へ泥棒

市内三笠町三丁目二十六番地雜貨商時昇芝方へ九日午後九時から翌午前五時の間に賊は裏窓ガラスを破壊し侵入し、金庫から金票四十圓現大洋三十八圓八十錢、鈔票六圓哈大洋十五圓、現小洋二十五圓二十錢、吉林官吊九千二百吊を窃取されてゐるを發見し、新京署へ屆出た

四平街に三人拳銃强盜

（四平街支局發）八日午後七時三十分頃四平街實泉街一丁目十二番地ノ五無職程乃忠（四八）方へ三名の滿人匪賊が表入口より屋内に侵入し内二名は入口土間で見張をなし一名は室内に入り娘程催氏と雑談中の程の妻王氏にローヤル拳銃を擬し脅迫の上金錢の提供を強要しつゝ身体檢査を強し同人の上衣ポケット内より大洋票五十錢を强奪し更に程王氏を坑上より土間に引づり下し程が「殺されても金の持合せがない」と告げるや土間の隅にある衣裳櫃に手を掛け蓋を開けんとした時被害者が賊の隙を覗ひ馬賊が來たと速呼しつゝ表街路に飛び出したので賊は櫃内の一物をも盗り得ず表口より實泉街北方へ向けて逃走急報に接した警察署では直に非番員の非常召集を行ひ現場に馳せ付け逃走方面を搜査したるも遂に逮捕するに至らなかつた。

新京大阪間の直通電線計畫
遞信局で建設準備中

さきに東京、新京間直通有線電信を開通、東京方面並に東北北海道、樺太方面のスピード化に成功した新京郵便局では、今度更に大阪方面の電報スピード化を圖るべく新京、大阪間直通有線電信を開始するに決し目下關東廳遞信局では着々準備中で遲くも來月中には完成の見込みだが、これが完成の曉は從來奉天を中繼としてゐた大阪への電報は直接大阪に送られる事となりこれに伴つて新京を中心とする地方並に北滿からの近畿地方及び德島縣、香川縣方面への電報は斷然早くなる譯で、新京市民に取つても大阪方面商人、新聞通信關係にとつても非常な『福音』である、尚現在タイムス通信を行つてゐる東京、新京間直通有線電信も將來專用線に改められる筈である

片山潜氏も寄る年波に故鄉戀し

（東京八日發國通）共產主義者片山潜氏はモスクワ[illegible]が、寄る年波に故鄉戀[illegible]昨秋來岡山縣弓削町に[illegible]兄に書を寄せて一度歸[illegible]い旨申し來つたので親[illegible]思想轉向を條件として[illegible]動を起し、旅券の下附[illegible]省にも申請したが當局[illegible]何分彼が國法を無視し[illegible]アに在るので不許可と[illegible]彼も事實日本で考へら[illegible]る程外務省政府では重要[illegible]す。寧ろ悲慘な生活を[illegible]るものださ

興苗滅漢を標榜の苗族軍猖獗

（天津九日發國通）政府の討伐により一度鎭靜に歸した廣西省興安方面の苗族は二十日又復大擧縣城に[illegible]潰走する、かくて漢陽、宜寧、龍勝、陽朔六縣苗族の天地となり盤天德を大元帥とし勢ひ猖獗を極めつつあるので桂林駐屯の第七軍が討伐に向つた

ドイツ政府猶太人官吏放逐

（ベルリン九日發國通）猶太人排斥の手を緩め獨逸政府は八日新文官服務條令を發布し大戰前からの官吏乃至大戰從軍者を除く一切の猶太人を放逐するに至つた

縣長黄昆山は團勇を率ゐて防禦したが敗北逃走した、苗族は興苗滅漢を標語し呪文を書いた紙を捧げ番刀を揮つて銃彈をものともせず飛び込んで來る勢に壓せられた官兵は

愛國滿洲號命名式延期

既報愛國滿洲號五機は十一日午前十時より周水子飛行場に於て命名式を擧行されることになつてゐたが、日本内地の天候惡きため延期に決した　時日は追つて發表される筈

思想對策協議會を設け根本策を研究

（東京九日發國通）現下の世相に鑑み政府は愈々思想對策協議會を設置し、其根本策に關し研究する事に決定したが研究題目に就ては左の如く決定更に研究を進めて具体案を練る事になつた

一、法制に關する件

（イ）現行治安維持法の改正

（ロ）共產主義運動の犯罪に對しては、三審制度の裁判を廢し之を一審制度に改む

一、思想對策部の新設、左翼思想の侵潤の原因撲滅並之が防遏策の根本的調査研究を爲す機關とし、内務省内に思想對策部を新設する等施設の徹底を期する事

一、出版物の取締施設の聯絡統制

左翼思想抱懷者の感化施設機關及び左翼思想者にして轉向したる者に對する施設機關を設け、並に左翼思想者に對する轉向を間接に説き勸める施設

根本的對策、[illegible]制の改革、財政其他一般政治の運用改革、社會制度の改革、思想對策思想の原則による善導即ち所謂國家思想の徹底的鼓吹宣傳に努む

三陸地方に十數回の微震

（東京九日發國通）中央氣象臺の發表によれば、九日午前十一時四十七分頃盛岡地方より三陸沿岸一帶にかけて弱震あり、引續き十數回の微震があつた

震源地は三月三日の大震と同じく岩手縣釜石町の沖合に當る尚かゝる緩漫な地震永續するときは津波の現象があり勝ちだと言はれて居る

日蘭兩國間に仲裁裁判條約草案成る

（東京九日發國通）我國は聯盟脫退後の新方策として各國と個別的に親善關係を結ぶこととなつたがその第一歩としてオランダ公使齋藤博氏は日蘭仲裁裁判條約を締結すべく交渉中で、八日着の報告によると既に條約草案の作成を見、近く最後調印の運びとなつた右條約草案の骨子は左の通りである

一、日蘭航海條約並びに一九二一年の太平洋方面のオランダ國の島嶼の特殊權利尊重に關する帝國政府の一方的聲明を補足し、日蘭紛爭解決に關する根本方針を約定する

一、法律問題や現存條約の解釋につき紛爭が生じた場合ヘーグの仲裁々判に附すること

一、右紛爭が兩締約國の利益獨立、若くは名譽に關する場合、又は第三國の利益に關係ある場合には特定の規定により解決のこと

七億弗の海軍建造計畫を
ル大統領議會に提出

（ワシントン八日發國通）米國上院海軍委員長トランメル氏は八日ホワイト、ハウスでルーズヴエルト大統領との會見後左の如く語つた

ルーズヴエルト大統領は近く議會に提出さるべき公共事業法案に七億弗の海軍建造計畫を包含せしめる意向である、大統領の計畫によれば、第一年度は三千萬弗乃至四千萬弗を支出し、次第に之を增加する筈で之によつて多數の人を就職せしめ得るものと信じられて居る

京城府職員高射銃を獻納

（京城特電）京城府廳では府尹より傭人に至るまで全職員が日收の六分の三を醵出し防空獻金として高射機關銃一台を獻納することとなつた

釋放條件の交渉に應ずる用意あり
海賊側から返答來る

（營口九日發國通）去る三月二十九日海賊に拉致された南昌號乘組英人四名中海賊の密書を持つて歸還した機關士ビアス氏を除く他の三名の釋放に關しては目下引續き海賊と交渉中であるがビアス氏の歸還後英國當局より海賊側に派遣した使者は九日海賊の回答書を携へて歸還した、右に依れば海賊は釋放條件の交渉に應ずる用意がある旨述べて居る、又今尚監禁中の英人三名より傳言があり「送附の衣服及び食糧は正に受取つた、吾等は幸ひ元氣であるが一刻も早く自由の身となれる樣至急御配慮を乞ふ」と訴へて居る

靜岡初茶取引

（靜岡九日發國通）靜岡の茶市場の初取引は來る二十日と決定した

北滿商工名鑑
長春滿洲通信社編纂に着手す

滿洲國建設以來邦人の北滿に志すもの續出しすでに各地に於てそれぐ目醒しき活躍を呈してゐるものが相當多數に上つてゐるが、未だこれ等北滿の一線に活躍する商工人名鑑が無いため一般商取引の開始上甚だ不便を感じてゐるところであつたが今回長春滿洲通信社が當局の許可を得て「北滿洲商工名鑑」（新京、吉林、敦化、ハルビン、チチハル、洮南、公主嶺四平街の各都市）を編纂すべくこの程着手したが一般からすこぶる機宜に適した刊行物として非常なる好評を以て迎へられてゐる

監察院大敗
對興安總署野球　13A—1

既報、興安總署對監察院野球試合は絶好の野球日和に惠まれ九日午前十時半から憲兵分隊前廣場で監察院先攻で試合開始（球審花園、壘審高橋栗原）第一回監察院先づ一點を先取したが裏で直ちに興安總署二點を入れリード二回以後九回まで監察院完全に封じ込まれ之に反し興安總署側ヒットの連發で遂に十三A對一の大スコアで興安總署の大捷に歸した　閉戰正午

										計
興	2	1	2	4	2	2	0	A		13A
監	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

哀しき遺骨

騎兵第〇〇隊故松永住一上等兵の遺骨は原隊で告別式執行の爲十日午前八時來京同八時四十分ハルビンへ向つた

森田恒友氏逝去

（東京九日發國通）昨年十一月以來胃癌で千葉醫大附屬病院に入院加療中だつた春陽會會員森田恒友氏は八日午後二時遂に逝去した享年五十三歳

二代目文菊
花街の噂

七日の夕刊、この欄にこれは誰？としてのせた寫眞、あれは開花の千龍です、さすがに若手のはやりッ妓だけあつてあつちからもこつちからも千龍であることを電話をかけて來たり、手紙で、どうだ我々の眼識は……と大威張りでした

×

今日のは、開花の二代目文菊です、前の文菊のやうに小さい時から居るのでなく、突然二代目文菊となつたのでどんな妓であるかよく知りませんが前の文菊のやうにしよつちうこの欄を賑はすやうな材料を作り出しませんのです

×

初代の文菊は全く開花には朗らかな存在でした、その後をうけた二代目はきつちかと云へばおとなしい、あまり物を云はない方ではないでせうか そのかはり何を云はれても、顔の筋一つ動かさない、全く無表情だといふ人がありました果してどうでせうか？

ラヂオ欄

十日（月）

奉天後五、〇〇レコード錢行金銀相場商業通信社
新京後五、二〇演藝
新京後五、四〇講演
東京後六、〇〇ニュース東京中央放送局編輯
新京後六、二〇時事解説（滿洲語）氣象豫報及滿洲語ニュース
新京後七、二〇ニュース（英語）
新京後七、四五ニュース（露西亞語）
新京後八、〇〇ニュース（朝鮮語）
新京後八、一五ニュース氣象豫報放送局編輯及プログラム豫告
東京後八、三〇時報
東京後八、三一ニュース東京中央放送局編輯

十一日（火）新京

奉天後五、〇〇レコード錢行金銀相場商業通信社
新京後五、二〇演藝
新京後五、四〇講演日本の國際聯盟脫退後に於ける滿洲國民の覺悟協和會員干敬齊
東京後六、〇〇ニュース東京中央放送局編輯
新京後六、二〇時事解説（滿洲語）氣象豫報及滿洲語ニュース
新京後七、三〇ニュース（英語）
新京後七、四五ニュース（露西亞語）
新京後八、〇〇ニュース（朝鮮語）
新京後八、一五ニュース氣象豫報放送局編輯及プログラム豫告
東京後八、三〇時報
東京後八、三一ニュース東京中央放送局編輯及プログラム豫告

追加通知
十一日午前九時五十分より十一時迄大連周水子飛行場より愛國滿洲號獻納式狀況の中繼放送を追加致します
昭和八年四月八日　新京放送局

幕末異聞 愛慾火箭（二十五）

作 瀧川駿（上演上映）　畫 村瀬洗舟

急なお召（五）

朗かに晴れた晩春の美作路。削ぎ取つたやうな斷崖に添つた細路。一方は千仭底の知れないやうな溪谷。

時々、山びこに響く斧の音。溪谷のせゝらぎ以外、音律のない閑寂さである。

この嶮岨な山路に、差しかゝつてゐる二人の旅人、申し合せたやうに、揃ひの道中合羽を肩にかけ、頭は菅笠に、眞鍮輪の這入つた道中差を佩し、淺黄木綿の風呂敷包を、腰に縛り附けてゐるので、お邸の年期者と言ふことがすぐ解る。

「おい八さん。江戸へ歸つたら自宅へも、たまには遊びに來て異んな。お前さんの内儀さんは女結だつて、そいつは豪氣だな。俺いら髪結つてと、男ばかりかと思つてゐたら女もあるのか、これも御時世だね。今に俺いらのやうな腕前は一人殘らず女になるだらうな。おい。——なんだい、お前居眠りをして歩いてゐるのか？」

「えつ、お前何にか言つたのかい？」

「何にか言つたも、ねえもんだよ。俺いら先刻から長々喋つてゐるのに、妙に返事がねえと思つたら、——居眠りする阿呆もあらうに、こんな危ない崖道で居眠りするなんて、矢つ張り八さんだな」

「うゝむ、先刻、仲人様で飲んだやつが妙に利きやがつて、思はず知らずついうと〳〵とな、あはゝゝゝ」

「笑ひ事ぢやねえや、俺いらが心配してるのに、笑ふ奴があるけえ」

「まあ、怒るない。流石は、松江まで異名を轟かしただけの、怒り上戸の久三だな」

「馬鹿にするねえ。——だが、野宿の旅路で鳶の縄張とは、流石のんべの八さんだ」

「おい久さん。鳶の顔を見たら急に寒くなつてるな。寒棒が勘いよ」

「おゝあそこがいゝや」

刑部の小者、久三と利八が刑部の失脚後、暇を貰つて江戸へ歸る道中であつた。急ぐ旅路でなし、物見半分の膝栗毛。

とある岩の凹きに腰をおろして、瓢を傾け出した。

「おい久さん、見たやうな姿だな？」

久三は、利八の指差した方を見た。そこには崖に添つて、深網笠の侍が道を急いでゐた。

「——なる程」

「解つたか？」

「解らねえ」

「ありや、御陰様の若旦那だ」

「うむ、違えねえ」

「自宅の旦那を殺したのは、與四郎様だといふ噂だつけな」

「なに？ 與四郎様」

「さう氣を込むな、御主の仇と言ふ證でもねえ」

「旦那様を殺した下手人が、只四郎様と定まれば、俺いらに取つては御主人の仇だ、俺いら及ばずながら一太刀でも斬りつけるよ」

「俺いらは、いやだな。考へて見ねえ。俺いらは、一期半期の渡り奉公人ぢやねえか、相手は腕の立つ與四郎様だ。千に一つの勝ち目はねえ」

「うまく行つたところで褒美の青錢五貫、大抵は命ものだよ。俺いら命まであげますと、年期證文に書いた覚えはねえ」

「なる程な——へゝゝゝこれも御時世か！」

二人が、斯う無駄口を叩いてゐる間に、侍の姿は岩角に隠れてしまつた。

「おや？」

「うむ」

つゞいて、二人が、驚いて目を見張つたといふのは、同じ山路に島田髷の女一人、それに一足遅れて遊び人風體の男が附いてゐたからだ。

それは、江戸の女、矢場のお路と、同じ孫之助の二人であつた。

四月十一日 舊三月十七日　火曜 丁未 先勝 平 尾宿

●一白の人 一刻の偸安は後日に大なる穴を生ず勉めよ 乙と亥と癸が吉

●二黒の人 行動を愼しみ奔逸に流れざる様注意すべし 辛と戊と丑が吉

●三碧の人 自ら不安の氣を一掃して勵めば吉日となる 丙と壬と癸が吉

●四緑の人 心の移り易き日 人の勧むる事は考慮を要す 乙と丙と壬が吉

●五黄の人 先きにのみ進む時は跡は疎かに成り易き日 丁と酉と丑が吉

●六白の人 靜々と我が身に福分の近寄り來る吉日とす 庚と戊と寅が吉

●七赤の人 油断なくば吉日となる但し口入事は愼むべし 申と辛と亥が吉

●八白の人 家業は繁昌すれども外廻りには注意すべし 丙と亥と寅が吉

●九紫の人 午前は至て良き運氣なれど午後は手控せよ 乙 丙 丁の吉

電話の申込みで押すなくの盛況
早くも第一日で二百を突破
昨日受付始まる

會社、官廳は勿論の事商家に取つては一日も缺かされぬ重要な電話機が新京の異狀なる發展に伴ひ物凄い拂底を告げてゐる事は既に周知の通で市民間には『電話』機增設要望の聲が高まりつゝあつた處遞信局では既報の如く豫算の許す範圍內で先づ第一回の增設を行ふ事となり昨十日から十五日迄五日間、電話局加入事務取扱室で希望者の申込の受理を開始したが、增設電話機は總數五百個でその中約二百個は滿洲國軍部側に充當せらるゝ見込で結局市民に當てられる個數は三百個であらうと『內外』見られてゐる、電話課では受理した其申込を全部遞信局へ送附し直ちに申込數一人で一個以上申込んでゐる者事業商賣上必要か否かの狀況等を詳細に調査し電話ブローカー或は最近賣却した事のある者、又は現在必要なくとも先を見越して申込んだ者等は直に其場でオミツトし、どうしても必要と認めたる者のみを集めて嚴密な抽籤を行ふので早くとも本月末か來月上旬でなければ確定出來ぬ模樣である、なほ第一日十日の申込數は二百十個で十五日迄にはゆうに千個を突破するものと豫想されてゐる

國立競技場や
體育館など設置計畫
滿洲國體育協會が頻に奔走

全滿に漲るスポーツ熱も漸次具体化しつゝある滿洲國体育協會では体育運動の健全なる發達は運動場、体育館等の諸設備の充實が先決問題であるとして、計畫中だがこれが出來れば素ばらしい一大スタヂイアムが『出現』するわけだ　即ち、國立陸上競技場、國立綜合球技場、國立体育館の新規造營の要求であつて、競技場は現在滿鐵のものを信用してゐるがこれは早晚完成しなければならないものであり球技場はフツトボールが國技の如き觀ある滿洲國では最も早く完備した球場の設置が望まれてゐる、又体育館は三、四ケ月に亘る長い冬季結氷中、保健上之れ亦必要なものである　國立競技場は四〇〇メートルトラツク、觀覽席、周圍芝生等を含む二萬坪で『球技』場はラグビー、サツカーの各球場にバスケツト、バレー、庭球各四場及び野球場一つを含む十萬坪、体育館は体操場屋內競技場の二棟一萬坪の計畫である

海軍〇〇隊
哈市へ出發す
新京驛頭の賑ひ

武內海軍大佐指揮の海軍〇〇隊〇〇名は水兵服に輝やかしいでたちで凜々しく十日午前六時四十分滿鐵線で着京、同八時三十分發列車でハルビンに向つた、驛頭には駐滿海軍部司令官小林少將以下各幕僚並びに官民代表、市內學生生徒等多數見送り盛觀を呈した

支那軍配置狀況
長城線一帶に

長城線一帶に亘る支那軍の配置狀況は左の如くである

▲古北口前面　王以哲軍　徐庭　軍　聯合軍
▲羅文　白馬關　喜峰口前面　宋哲元軍
▲冷口　商震軍
▲灤河右岸　何柱國軍（商震何柱國軍の司令部は灤州らしい）

滿軍の配置
熱河に於ける

熱河討伐一段落後に於ける滿洲國軍の殘匪掃蕩は顯著なる成績を擧げつゝあるが現在に於ける滿洲國軍の配備狀況は左の如くである

承德及其附近―張總司令官　鵬飛
赤峰及其府近　王永淸
圍場及其附近　堂寫淸
豐寧及其附近　傅銘勳
隆化及其附近　劉茂義

尙熱河東部に殘存する舊遼西義勇軍約七千は其後漸次靖安遊擊隊に壓迫され靖安遊擊隊は既に阜新に頑張つてゐた敗殘僞勇軍を西南に追ひ拂ひ同地は僞勇軍の魔手より完全に救はれ王道樂土の光明に惠まれてゐると

思想防止
機關設置
政府當局が力瘤を入れる

〔東京十日發國通〕我國の左右兩翼の思想犯罪は憂ふべき狀態にあり、議會に於ても思想對策決議案が可決されてゐるので政府に於てもその趣旨に副ふべく過般來各省次官會議で善後策を協議してゐるかその一策として內務、文部、司法三省協同のもとに思想犯罪防止の機關を設置せんとする議が起つてゐる即ち最近の思想犯中就中、共產黨關係には教育の不滿缺陷から一時的幻惑によるものが多く、これ等は指導方法よければ悔悟して正道に立ち返るものが多いのであるが保護教養を委託する適當な機關がなかつたゝめ司法當局に於ても其措置に窮してゐた故に、前記の如き防止機關が設置さるれば微罪處分者亦は改悛の見込ある者は安心して之を委託することが出來、一般父兄も思想的危機に臨んでゐる子弟は之に託して中正なる思想に立ち歸らしめ犯罪防止上多大の効果を實現せしめるため當局では力瘤を入れてゐる

郵便物は「多少遲れます」
一部は大連を經由

從來內地方面から輸送して來る郵便物は殆んど朝鮮を經由してゐたが最近著しく激增した爲輸送力の關係上第一二種及第三種の日刊新聞、官報以外のもの例ば寫眞、商品見本月刊雜誌等は總て大連を經由する事となつたので從來より一、二日遲延する事となつた

赤化鮮支人を
東部國境に集結
赤化進出の根膽か

最近ソヴイエート赤衛軍はウラヂオ市を中心として頻りに赤化鮮支人を募集し漸成的に軍事訓練を施し蘇滿東部國境グレーチフカ・ポゴスラフカ方面へ送りつゝあり右は單なる同方面國境警備と稱してゐるが、或は機を見て交通不便なる滿洲國東部方面の赤化進出に出ずるやも知れず、滿洲國軍は將來を發慮し東部國境の警備を嚴にすべく目下腐心中であると

强盜の片割れ
更に一名逮捕

さきに新京署日高巡查部長を射殺した、强盜犯人劉振東の一味王鳳林(四二)既報の如く去月六日逮捕し取調の結果王の共犯である、河北省寧津縣城北宗關亭(二五)が市內に潛伏してゐるを自白し以來搜查中の處、八日午前十時ごろ市內八島通を徘徊中を原田刑事の一隊が發見逮捕した

吾等の愛國機
愈けふ大連へ
きのふ太刀洗出發

惡天候のため出發後途中行路を阻まれて居た我等の愛國機滿洲號五機は十日午前九時太刀洗出發、豫定の經路を辿つて十一日午後一時大連に到着の豫定である、命名式は既報の通り十三日午前十時から大連周水子飛行場で擧行されるが、尙愛國機の全滿感謝飛行は十四日を第一日として逐次豫定の如く行はれる

新京商業の入學式

新京商業學校新入學生九十五名の入學式は十時から同校講堂で擧行され何れも父兄或は保證人附添ひ登校、東校長の訓辭、學校管理者荒木新京地方事務所長の諭告等々嚴肅壯重な式があつた

種痘
十四日午後一時から
領事館警察で

最近新京市內外に傳染病の蔓延甚だしく新京領事館警察署では一般住民のため傳染病驅逐策につき考慮中であるが先づ最もその猖獗を極めてゐる天然痘撲滅の目的で一般日本人に對し同署に於て、十日午後一時より三時迄種痘を行ふこととなつた

大連から家出
新京署へ二件搜查願ひ

人の心も浮立つ、今日このごろ若人の血は燃へ、心なき家出が日に〳〵增加した、十日新京署保安係に舞込んだ搜查願二通、いづれも大連署からで一つは藝妓と情夫のドロン、一つは家庭の不和から人妻の家出である＝大連市久方町七番町上田寶輔妻ヨシ(四二)さん去月十七日無斷家出したが新京で仲居を働いてゐるを聞付け取押方の手配があつたまた大連市平和街六十七番地料亭敷島樓こと森田重太郎方抱へ藝妓芳太郎こと阿野光子(一九)は情夫大連タクシー運轉手石川輝夫(二二)とゝもに去月二十五日同料亭から姿を消したが情夫石川輝夫は同タクシーの自動車一台を某所に賣却して逃走したものである

家政婦の申込殺到
實に引張合ひ
滿鐵社會係の無料斡旋取扱
非常なる好成績

女手不足の新京に勞働力を供給して一般の便宜をはかるとともに、一方婦人の就職に資して相互のためをはかららうといふので、滿鐵社會係で去る三月三日のお『節句』から開始した家政婦斡旋事務取扱ひは素晴らしい人氣を以て迎へられ、一般の需要の申込みが殺到してゐるに拘らず肝腎の家政婦そのものが不足して間に合はず折角の申込みを斷らねばならないといふ始末である、即ち現在登錄されてゐる家政婦は三十名で看病、お產、結婚式或は轉宅の手傳ひなどゝそれからそれへ引きも切らない用込みに彼女達は正に引張り凧の盛況である、日給は通勤と泊込みとに拘らず食事は向ふ持ちで八十錢から二圓といな規定だが今のところ何れも八十錢以上一圓二三十錢といふ『相場』で仕事によつてはこのほかに相當の心付もあるらしく同社會係では一切無料でこれが斡旋役をつとめ非常な好成績を示してゐる、右について野村社會主事は語る

開始早々は婦人の方が少く一般の申込が多かつたが、そのうち婦人の方が多くなり、これが斡旋に隨分苦勞したものだしかし今次ではこれまた最初にかへつて、これだけの婦人達では手が廻らず切角の申込を殘念ながらお斷りせねばならないといふ始末である

新京商業生
母國見學
（第三信）

第二信未着、疲れた体を朝早く詩の都京都に汽車は送り込んで呉れた、京都々々と驛夫の聲もなんとなく和やかに甘く聞える、驛には煙にくすぶつた木造りの驛と見馴れない人々等が我等を迎へた、落着いた古典的な都が第一印象として頭にひらめつた

□…第一日の京都はモダンな遊覽自動車のふんわりした深いクツシヨンに腰を落して繁華な町の中を名所へ〳〵と縫つて行く器用さに皆が奇聲を上げてゐた、最初は信者が多い事で有名な東西本願寺に入つた佛寺で東洋一といはれる本堂柱揚げて傳說のある女のふさ〳〵した髮の毛繩を切つて揚げた當時を思ひ出して眺めて見た

□…豐國神社を過ぎて町端の桃山御陵に着いた砂利を踏んで二百五十もあるといふ階段を登りつめた所に丸に三つ、四角に三つとなつてゐる松林の御陵を見た今迄ざわめいてゐた皆々は取るともなしに帽子を脫いで行儀よく整列した時、自然に湧く森嚴さに頭がたれるのを不思議に感じた

□…乃木神社には將軍の生立ちの家の模造と遺物とが六疊と三疊との狹い家にあるのを見るにつけて明治の偉人を生みだした大きなる母だつた事を懷かしく感じる、月が高くなつた時淸水寺の樓門の階段に記念撮影をして居たそよ〳〵と春風か滿洲で味はへない快い風か我等の頰を心よく打つ

□…眺台で下を遠望すれば、三筋の瀧と古風な瓦葺きの屋根の背を見ると眞實に日本の土を踏んでゐると云ふ感じがした、之れが我等滿洲子が云ふ言葉だと思ふと恥かしくてたまらない、南禪寺インクライン、平安神宮と二台の自動車は走る平安神宮では丁度靑訓主催のマラソンに門の下に應援者が立つて「ホンマニヨーハシリハリマンナ」と穩かな京都辯に珍らしく聞きされる

□…昔のまゝの活動に出て來さうな古風な垣が御所を嚴めしく廻つて居たその御所も外觀だけで名殘りを惜しむ暇もなく自動車は滑り出した、蛤御門も西にひかへて居た、午後四時頃最後の金閣寺、形の良い松、風流な池それらに臨んだ足利時代の文化を誇る代表的建物も、今は有りし昔を物語る金箔のはげた臨と二層の屋根とが物淋しく立つてゐた池には底のすいて見える淸き水に、大小さまざまの眞鯉緋鯉が昔からの歷史を飲んだ顏して悠々と池の中に脊を見せながら游泳して居る

□…今日一日のあわたゞしい名所見物も、無事濟んで疲れた体を旅館に置いた時腹の底よりなんとも言い知れぬ滿足の喜びが、湧いてくるのをどうすることもできなかつた、風呂を浴びて一日の疲れと汗とをさつぱりと洗ひ落とし晚の自由外出に皆はそれ〴〵二三人と組んで心よい口笛を吹きながら夜の町へと吸はれてゆく

□…彼等の行手あの華やかな都踊か京根か？否彼等には非常日本の貴い姿を觀察して來たるべき大きな責任があるはずだ（沖津）

附屬地人口
四萬三千近し
內地人著しく增加
三月末日現在新京署查調

大滿洲國の首都新京の人口は日に增加してゐる新京署の調査による管內の三月末日の總數は、四萬二千六百七十七人で前月に比し八百四十七人一日平均二十八人强の增加を示してゐる、このうち內地人の增加は男三百六十七人、女三百十二人、朝鮮人男五十八人、女五十四人、支那人男四十六人女二人、外國人男三人、女五人である

泊り客姿を消す

東京府生れ藤田二郎(二七)は本月一日ごろ來京し、吉野町二丁目大寶旅館に投宿中、九日朝新京驛に荷物を取に行くと稱し同家主人から現金二十圓、茶色縞羽織一枚、同袷衣一枚を借りたまゝ行方を晦したので新京署に屆けでた

廻轉木馬や
音樂堂も新設
西公園、各廣場に
新しく模樣がへ

滿鐵新京地方事務所は新京を國都にふさはしい市街美を施すべく西公園各廣場の模樣がへ及諸施設を種々計畫中であるが、大体次の如く決定を見るものと見られてゐる

一、驛前廣場及南廣場に噴水及時計塔を中心として花壇を設ける
二、西公園の池を擴張し夕日ケ丘を離れ島とする
三、西公園に大噴水を作りメリーグランド(廻轉木馬)を設置
四、西公園に音樂堂を建設する
五、動物園を擴張珍しい動物を飼ふ
六、溫室をふやし優良花の培養に努める

藝妓常磐津大會
宗家二佐太夫 催
十四日夜長春座で

常磐津調正會宗家二佐太夫は新京常磐津調正會支部の後援で、來る十四日夜長春座で開演、曙開花千鳥等正菊師匠門下の奇麗どころが出演する入場料金二圓であるが、そのプログラムは

△第一　細石巖錦繪(曙出演)　鶴壽々丸　龜雪江　常磐津　三春太夫△三味線　正次　正三津
△第二　三世相錦繡文章　道行蝶吹雪…(洲崎堤の段)…　常磐津　正三津　正次△三味線　正惠
△第三　花舞台霞　猿曳(曙出演)…うつぼ…　常磐津　小歌　笑子　京丸　君春　菊丸△三味線　春美　豐若丸　桃彌　蔦治
△第四　三世相錦繡文章の內…十萬億土の段…　常磐津　二佐太夫　三春太夫△三味線正惠
△第五　釣女(千鳥出演)　立方　大名　つる子　太郎冠者　小政　美女　小丸　醜女　政千代　常磐津　千代吉　千太　愛千代　ハガキ　お染　廣香△三味線　琴治　老松　友千代　菊治　染吉
△第六　積雪關扉…關の扉…　常磐津　正次　正三津△三味線　正惠
△第七　大森彥七(開花出演)　立方一、大森彥七　文丸　一、千早姬　文菊　一、家臣　千龍　一、家臣　圓丸　常磐津　色子　琴松　久松　政千代　琴治△三味線　千太郎　若治　千惠丸　榮龍　萬彌
△第八　神路山色褄…油屋の段…　常磐津　二佐太夫　三春太夫　正次正三津△三味線　正惠
△第九　老松　社中一同

三月中の傳染病發生
新京署調べ

新京署調査による三月中に管內傳染病發生は四十九人、內死亡四人である、この內猩紅熱三十四人が筆頭で痘瘡八人實扶的里亞五人、腸窒扶斯二人この內全治したもの二十七人である

殖民學校慰問團

關東軍慰問、日滿交驩の目的を以て九日來京關東軍文教部立法院を訪問し、趣意書及メツセーヂを手交した、東京殖民學校、東京保善商業東京保善工業の慰問團は十日午後十時離京內地へ向つた

腦脊髓膜炎發生

七日午後一時市場通七丁目二番地小田澄子(七)は腦脊髓膜炎と決定、即時嚴重消毒を施し七日間の附近一帶に亘る交通を遮斷した。尙同病は六日早朝であるが七日滿鐵病院で試驗の結果判明したものである

安東から
金融組合
設置の運動

二百五十萬の滿洲低資金融通の分配は、金融組合の無い安東のみはひとり今次の低資融通の均霑に浴し得ぬ譯で、斯かる際輪組利用者以外の在安一般中小商工業者は、將來滿洲國に活躍すべき爲に、是非とも金融組合の設置あつて然るべしとの輿論起りつゝあり從來の關係上、商議としても各關係方面と協議のうへ具体的方針を樹て實行運動に移るものと觀られてゐる。

憲兵隊主任會議

安東憲兵隊では每週○曜日午後一時より約二時間各警備機關情報主任の會合を求め、情報の交換、警備上の打合せ等に關し會議を開催する旨各方面へ通知を發した。

修養團向上會
今夜室町校で

修養團新京支部では十一日午後七時から室町小學校で同團向上會を開催坂本、高橋兩講師の講演があるから團員と否とを問はず來聽を希望すると因に坂本氏は近く發劇される滿洲修養團專務理事兼教務部長に就任する人、高橋氏は修養團滿洲聯合會の講師である

新京局の家族種痘

新京郵便局では時節柄局員及家族に對し十日午前九時から午後三時迄同局食堂で種痘を施行した

首相の決意を
民政黨頻に促がす

〔東京十日發國通〕民政黨では政局安定は急務ではあるがこれは一に齋藤首相の決斷如何にかゝると爲して居る、即ち高橋藏相の單獨辭職或は早晚事實となつて來るかも知れぬが、其際には首相としては斷然として適任者を補充し、陣形を建直し、來年度豫算編成に着手すべし、而して之に對する政友會の出樣によつては來議會を解散する決意を固め政界淨化選擧改革制の實を擧げるのか、擧國內閣の使命であるとの建前から黨出身の山本、永井兩相を通じて首相の決意を促して居る、新くて首相が斷乎たる決意所信に邁進するに於ては民政黨も積極的に之を支持非常時打開に當らしめる意向である、若し首相が之に反し豫算編乘議會乘切りの決意を缺くなら必然的に五、六月頃政變あることを豫想し得るから、黨としても之に對する根本態度指導方針を決し應く必要ありとし幹部會で各方面の情報に依り新方針對策を講ずることになつた

▲富士のジユン子最近着馴れた洋服を捨てゝ、一ヤール二圓の支那服を着て、でつかいお尻を重そうにはこんでゐる　これを見た四五人の口の惡い連中、丁度〇〇の樣だとさゝやいた▲これを聞いたジユン子見る〳〵內に頭髮を逆てて眼を三角にしさながらお岩のユウレイの如きぎやうそう物凄く「なんですか失禮ないやしい女給稼業はして居ても私もやつぱし人の子です」と美事なタンカをきつてました▲二葉のウメ子、先夜目尻の下つたモボとホールの一室でいとも樂しげに左の通りさゝやいてゐるのを耳にしました
男「君はこの間あそこで變な人とあんな事をさゝやいてゐたネ、彼氏に告げるぜ」
女「大丈夫ヨ私とツーぺは一身同体で私が何を仕樣とも決して怒らないのよ、それ程私を信じてるのだからネ、御心配無用ヨ」
男「ダー」

婦人と家庭

埃の多い春
目のお化粧を お忘れないやうに
第一の化粧法は目を健康に
朝夕ホーサン水で洗ふと

美しいすんだ目はどんな奇麗なお化粧にもまさりますほこりが多い春、目のお化粧をお忘れにならないで下さい目のお化粧の第一は目が健康である事です、そのためには朝夕必ず硼酸水で洗眼して下さい外出して歸宅後はこれを必ず勵行する事です、また讀書等で目が非常に疲れたといふやうな場合にはウイッチ、ヘーゼルか硼酸水であん法するとよいです

◉お化粧は最初にコールドクリームをまぶたにひきますその上にうすくアイシャドウをぬり目じりと眉じりにかけてぼかします、質の悪いアイシャドウを用ひますとしみが出來る事があります、日本人の目は小さいのですから眉を下げて引くことは目を一層小さく見せます、眞つ直ぐか、上げ目に引きます、とよいやうですアイシャドウを用ひるときも日本人は茶か灰色が無難です、目の色と違はぬものがいよです、それに日本人のまぶたは肉がありすぎて小さく動きのない目ですからパツチリと動的な目に見せる工夫が第一です、お化粧の技巧が下手ですとごぎつい感じを與へますから最初はアイシャドウをごくうすく用ひることです

◉まつげのすみは固形と液體のものとありますが液體のラツシユテント等がよく刷毛で上に向けてこく塗ます、夜はアイシャドウでまつげの上を濃い線を引きますとパツチリとします、濃度と色はそれ〴〵皆さんの目とまぶたを見て工夫して御覧下さい大きくパツチリとすんだ目にする事が目のお化粧の要領です

母國見學 高女生旅行記
第七信
趙綽　谷幽香子

一日午後八時なつかしの京都を後にして汽車は動きはじめた

お見送りの人々のサヨナラ〳〵の聲も耳もとをすぎ、夜の京都は美しい、東西の山々が黒くつらなつて灯の町をかこんでゐるすぐ逢坂山のトンネルをぬけて大津着

内地の町はみな山でかこまれてゐる、山と山との間に町が出來てゐる、滿洲の大平原に出來た町との對照は面白く感ぜられた

名古屋、々々といふ聲を夢の中に聞いた

朝五時半すぎ「富士山よ、富士山よ」といふ聲に呼びおこされて目がさめ、我先にと車窓に頭を集める、ぱつと目に入つた富士の姿

頭に白雪を戴いて裾長く薄紫の衣を引いた靈峰富士の姿がまだ明けやらぬ朝霞の中に、神々しくそびえてゐた、一條の雲もなく、心のこりなく富士を眺めることができた同乗の他の乗客もこんな富士は珍しいといはれてゐた

眞赤な眞赤な椿の花が時々目をすぎる、暖い駿河灣一帶は今や桃の花の盛りである

水田の水は富士山の美しい姿をうつしてゐる、朝日に映えるに從つて富士は次第に雪が多くなつて殆んど眞白になつて來た、そして汽車の後に退いてゐたが、しばらくして反對の窓側にさかさ扇の美しい姿が見えて來た

前へ後へと現れてゐた美しい姿も見えなくなつて八時國府津についた、國府津から小田原行に乗りかへ、小田原から電車で湯本へ行つた、こゝへで又乗りかへ長いトンネルをいくつもいくつもすぎて右に左に深い谷をみながら所謂羊腸とした杉の小道や雷光形に、のぼりのぼつて强羅についた

强羅の觀光舘へ着いたのは十時すぎ、そこでお茶を飲んでお湯に入つた、硫黄温泉で旅のつかれを休め、お晝を頂く旅舘の前面に聳ゆるは明星岳右に淺間嶽其の間から双子山が頭を出してゐる、後に廻ると早雲山相模灣の彼方遙か房總の山々を望み別市でこゝで山の美の絕景を賞することが出來た、一時半こゝ發海の景色を滿喫した私達は、再び電車に乗る、すぐ下の溪は杉の木が柱のやうに眞直に密生してゐるだ、こんな景色はさても滿洲では見られない電車道のそばから谷底にかけて紅葉の老木若木が枝をのばし赤い芽をふいてゐるのが美しい

杉や紅葉の枝の間から谷川が石にあたつて流れてゐるのがちら〳〵見えがくれする

小涌谷へついた、元箱根から蘆の湖を尋ねることにした、その名も高箱根の天險も今は交通の便開け登山バスで易々と登り得る、本當に隔世の感とはこの事だらう

高い山々にはまだ雪が消殘り杉の木立の間から紫の肌の遠山がちら〳〵見える

「こゝら一帶は櫻の名所でございます」と女車掌さんが說明して下さる、大部蕾がふくらんでゐた、杉檜の大木が覆ひかぶさるやうに茂る中を自動車は走る、一番高い蘆の湯のあたり海拔三千八百尺所々雪が殘つて窓を吹く風も寒い駒ヶ岳を左に見て苔むした曾我兄弟の墓と虎御前の墓に敬禮して前を通りすぎる

うねりうねつた道を上手に自動車は進む

このあたりからは下り道になつて居る、やがて美しい湖を下の方に見出だした、車掌の「皆さん憧れの蘆の湖がみえました」といふ說明を聞いて一同大喜び元箱根を通過し關所跡まで馳せて下車石碑の下で記念撮影してこれから元箱根まで徒歩で引返す、途中數千年を經たかと思はれる大きな杉が道の兩側に天を摩して聳えてゐる、このあたり如何にも昔が偲びだされる、箱根離宮の正門より元箱根に歸り箱根權現に詣で再び車上の人となり來た道を返す、小涌谷で電車にのりかへ湯本着四時半再び電車小田原五時十分着藤澤まで乗車、電車にのりかへて片瀨着江の島の灯が遙かに望まれる長い〳〵橋を渡つて六時四十分岩本樓に投宿

（日光にて）

中村雁衛門一座 二日目藝題

中村雁衛門一座は十日華々しく長春座に乗込み初日の蓋をあけたが歌舞伎は久しぶりのことであり、殊に雁次郎直門の幹部級だといふので人氣を煽つてゐる、因に二日目藝題は第一天候六歌仙河内山、第二源平布引瀧實盛物語、第三引窓、第四戀飛脚大和往來梅川忠兵衛等である

鮮魚小賣相場

種別	値段	種別	値段
活鯛	二一〇	氷鯛	四五 七二
チヌ鯛	二七 三一	連子	五〇
アマ鯛	三九	チダイ	四
小鯛	五〇	マグロ	五三 九三
サワラ	五〇 七二	スヽキ	三六
サバ	二三 三九	ヒラメ	二〇 二五
ボラ	二〇 二五	キス	四四
メバル	二八	ムツ	一八 二八
タコ	二六	甲イカ	二六 四〇
車エビ	四〇 五八	白魚	三三 三四
ナマコ	二五	アワビ	七二
カキ	二五	蛤	二〇
シジミ	五八	カマボコ	一六
チクワ	一一	赤貝	八
星カレ	二六	糸入	五八

野菜相場

新京市場小賣相場表
四月十一日「菜果之部」

種別	値段	種別	値段
白菜	四八	蓬蓮草大連物	一一 一〇
サツマ芋	三四	里芋	一〇 〇八
山芋	一〇 〇八	赤芋内地	一五
ワタチ芋内地	二〇 一五	牛蒡	〇五 〇四
蓮根	一六 一四	白大根「大連」	〇八 〇六
丸大根	〇六	赤大根	〇六
玉葱	〇八 〇九	人參	二〇 三〇
生姜	二〇 一二	ウド	三〇 二〇
ワサビ	一五〇 六〇	内地葱	一〇 〇八
玉菜	〇五 〇四	カブラ大小	一〇
馬鈴薯	〇三 〇二	水菜同	〇八
ユリネ	二五 五〇	ミツ葉大小	二〇 〇五
セリ内地	一五	ワケギ内地	〇五
春菊大連	〇三	胡瓜内地	一二 〇五
林檎	一三 一〇	内地梨	二五 一八
天津梨	一五 一二	ミカン	一五 一二
テーブル	四〇	西瓜	二〇

變黒船往來

新興特選上映及上演

（作）寺島柾史 （畫）布施長春

第五十五回

黒船の難題（一）

蝦夷奥地第一の大港、高島は原名をトカリショといつた。海豹の寄る磯の義である。また、港の口に屏風の如き巖がおごそかに屹立してゐるので、和人はこれからとつて屏島と名づけ、轉じて高島となつたが、マサラカオマプのアイヌたちまで今はトカリショの名をすてゝタカシュマとよんでゐる。

石狩小樽二郡の境界をなしてゐるオタナイ河畔の小樽場所の外港で、色內の澤を經、菅藻の寄る荒磯手宮を過ぎ、ムン草繁るムンウシやタンネシララに隣した風光の明るい良港——しかし松前藩でも幕府の役人でも北方を往來する舟子たちも、高島を小樽濱の別名のやうにいつてゐる。小樽場所は

たうてい松前の御城下や、函館濱の賑ひはないが、勝納の澤濱にも、留香の川岸にも沙崎の沙地にもオロマロ川の邊にも、さらに色內の館蹟しげる澤にも手宮の荒磯にもトカリショの高島にも、番屋やにしん小屋やアイヌ小屋、和人小屋が密集して漁村らしい形態を支へてゐる。中にも虎杖のしげるクッタルシ（作者註、今の入船町のあたり）の澤は小樽場所の中心として、運上屋や會所、勤番所や通行屋や倉庫などが立ならび、いかにも場所らしい誇らしさをもつてゐた。

だから船着場としての高島も、その小樽場所の見識を落さぬだけの外港としてのよさがあつた。運上屋出張所、番屋、通行屋、制札、井戸、板藏、辨天社、遠番屋、漁會所、渡海日和待の泊所などが、雜庫やアイヌ小屋のあひだに威容を構へてゐた。

また沖の辨天島の內ふところには、夜泊の漁舟に交り、つねに和船の二三隻は碇をおろしてゐた。したがつて船頭、舟子のたぐゐが內地の匂ひをしきりに濱邊へぶちまけてゆく、ニゴリナイのフラメ

のやうな漁千島が、それら遠來の客をねぎらふために、自然發生したもので、また舟子たちのもたらした都の模ほうでもあつた。

その高島の濱、辨天島の內ふところに半月ほど前から、異様な黒船が一隻どつしり碇をおろして動かなかつた。

異様な黒船——とはいふが、この小樽場所の住民たちは、けつして黒船には驚かぬだけの經驗と訓練を經てゐる。松前場所とまでいかぬが、それでもオロシャ國の黒船に再三ならず襲はれ、惱まされて來てゐるのだ。

だが、この黒船は同じ三本マストの巨艦ではあるが、主帆從帆の張り方、帆桁の數、大砲の備へかたなど、オロシャ國の黒船とはだいぶ趣きがちがつてゐる。はじめ

この船が、辨天島の鼻を廻つて無斷で入港したとき遠見臺の番人は、やはり色を失つて、急を番屋へ告げ、かつは小樽場所の勤番所へ訴へ出たものだ。

で、その日の夕刻、勤番所から、頭役一騎、目附一騎、徒目附一二人、徒士三人、小頭一人、足輕十人、在住足輕三十人ほど勢揃ひして高島濱へ集まつた。

が、この黒船はオロシャのそれとは異なつて、薄氣味わるいほど落つき拂つてゐた。勤番所の物々しい出迎ひ——實は日本人らしい短慮な挑戰——に對し、端艇を漕いで先づお目見得に上陸した、士官、水兵の輩は、いとも慇懃に微笑を含むだ眼で握手を求めるのだつた。

頭役はじめ、雜賦の足輕小者まで、張りつめてゐた氣もゆるんで、つひ、不覺にもやはり微笑をもつてこれを迎へねばならなかつた。

この黒船の名はアレキサンダル號、國籍はヨーロッパのフランス國、支那の鴉片戰爭以來、東亜の海に居殘つてゐるのだといふことが、やがて小樽場所全住民にはわかつた。